

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名 保育士研修費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 保育支援係 電話番号：058-272-1111(内3536)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,000 千円 (前年度予算額： 7,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 財 収	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,000	3,500	0	0	0	0	0	0	3,500
要求額	7,000	3,500	0	0	0	0	0	0	3,500
決定額	7,000	3,500	0	0	0	0	0	0	3,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 近年、子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育所等に求められる役割の多様化、複雑化が進んでいることから、保育所等に勤務する保育士等に対し、必要な知識及び技術の向上を図ることを目的とした研修を提供する必要がある。
- 国のガイドラインに基づき平成30年度から「保育士等キャリアアップ研修」を開始したが、同研修ではカバーできない保育士の各階層別及び保育の課題別研修についても、保育の質の維持向上のため継続して実施する必要がある。

(2) 事業内容

- ①【階層別研修】(3コース)
初任保育士、主任保育士、所長級の3階層において、必要な知識・技能を習得する階層別の研修を開催する。
- ②【課題別研修】(5コース)
多様化する保育ニーズに対応するため、保育に関する最新情報への理解を深める研修を開催する。
- ③【テーマ別研修】(7コース)
階層別研修や課題別研修及びキャリアアップ研修では補完することのできない、岐阜県の現場の保育士の実情に合わせた新たな研修を委託先の研修検討委員会において検討し、より質の高い保育内容が実践できるような研修を開催する。
<厚生労働省：子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金(保育の質の向上のための研修等事業)活用事業>

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

有 「保育士等キャリアアップ研修」以外の、保育の質の向上に係る研修を実施

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,000	保育士研修の実施（委託により実施）
合計	7,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

保育士等の資質向上のためには、安定的・継続的な研修事業の実施が必要であり、研修内容の見直しを行いながら、実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

保育所等に勤務する保育士等に対し、その職務の遂行に必要な知識及び技術を研修により向上させ、県内の保育サービスの質の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H23)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	
					達成率	
①保育士研修受講者満足度（アンケート）	87%	98%	100%	100%	100%	98%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 12コースの研修を開催し、延べ2,112人の参加があった。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 12コースの研修を開催し、延べ3,239人の参加があった。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	保育所等に求められる役割の多様化、複雑化していく中で、引き続き、保育の質の向上を図る必要があり、必要性は増加している。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	研修後のアンケート結果によると、研修受講者の概ね9割以上が、研修内容について満足しており、成果は上がっている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	保育士等に共通する知識及び技能の研鑽は、県が広域的かつ統一的に実施する方が効率的かつ合理的である。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 質の高い研修とするため、研修プログラムの検討、研修内容にあった講師の確保が課題となっている。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 保育士等キャリアアップ研修では補完できない階層別研修や、課題別研修については、保育の質の向上のため、継続して実施する必要がある。 また、これまでの研修に加え、保育現場のリスクマネジメントに関する研修や、現場の保育士のニーズに合わせた独自研修を新たに実施する必要がある。
--